

# 障がい者雇用事例集

平成25年4月

宮崎県障がい者雇用促進協議会

## 目 次

### 1 雇用事例

株式会社ジオテック	(住宅事業)	(宮崎市)・・・	1
株式会社モリタ	(工業部品)	(宮崎市)・・・	2
有限会社スウィングまごころ園	(介護施設)	(宮崎市)・・・	3
社会福祉法人まほろば福祉会	(福祉施設)	(宮崎市)・・・	4
医療法人真愛会 高宮病院	(医療業)	(宮崎市)・・・	5
特定医療法人浩然会 内村病院	(医療業)	(宮崎市)・・・	6
ソフトタウン高洲	(介護施設)	(宮崎市)・・・	7
株式会社	(小売業)	(都城市)・・・	8
有限会社	(精肉業)	(都城市)・・・	9
株式会社旭化成アビリティ延岡営業所			
	(O A 関連)	(延岡市)・・・	1 0
株式会社悠隆	(介護施設)	(延岡市)・・・	1 1
宮崎労働局	(行政機関)	(宮崎市)・・・	1 2
ハローワーク宮崎	(行政機関)	(宮崎市)・・・	1 5
宮崎県庁	(行政機関)	(宮崎市)・・・	1 6

### 2 実習事例

株式会社久保田オートパーツ	(中古車販売等)	(宮崎市)・・・	1 7
有限会社ほるぷ九州	(図書販売)	(延岡市)・・・	1 8
宮崎労働局	(行政機関)	(宮崎市)・・・	1 9
宮崎県教育委員会	(行政機関)	(宮崎市)・・・	2 1

# 障がい者雇用事例

## 1. 事業所の概要

- ・ 事業所名：株式会社 ジオテック
- ・ 所在地：宮崎市城ヶ崎2丁目1番15
- ・ 事業内容：住宅事業
- ・ 従業員数：30人(うち、障がい者3人)



## 2. 障がい者のプロフィール

- ・ 年齢：22歳
- ・ 性別：男性
- ・ 障害種別：精神(2級)
- ・ 職歴：無
- ・ 採用年月日：平成24年 5月14日
- ・ 賃金：時給
- ・ 通勤方法：自家用車



## 3. 採用までの経緯

- ・ 宮崎市障害者自立支援協議会の「障がいのある方の働きたいを考えあう会」に参加されていた会長より、当センターに発達障がい者を雇用したいと相談がある。当センター、宮崎障害者職業センター、宮崎県中央発達障害者支援センターと情報共有し連携を図る。
- ・ 対象者は高機能自閉症の診断有、ハローワークで発達障害者支援センターの支援を受けていた。
- ・ 事業所と保護者、関係機関と協議の上で、宮崎障害者職業センターの発達障害者就労支援プログラムを活用する。
- ・ ジョブコーチ支援を受けながら取組み、雇用決定し、午前中のみ週4日勤務からスタートした。

## 4. 勤務状況

- ・ 業務内容は、建築現場での清掃業務を主に会社のフェイスブックを通して社長に現場の写真メール送信をする。
- ・ 1日の流れ・仕事内容をキーパーソンより、毎日書面で説明を受け安心感がある。また、困った場合に誰に相談するのも、腕章をみればわかるようにしてある。
- ・ 規則正しい行動がとれ、一度確実に覚えた手順や場所は忘れにくい。きれい好きで職場内の波及効果もある。
- ・ 退庁時に、本日の振り返りで日誌を記入するが、具体的に記入されており作業状況がイメージしやすい。

## 5. 事業所の声

- ・ 障がい者雇用はしているが、「発達障がい」の方は初めてということで、雇用前に事業所、関係事業所36社を集め、障がい特性の勉強会を計画的に開催し、本人理解を図っている。
- ・ 短時間勤務から入り、本人の体調面や業務内容等、関係機関等と話し合い、段階的に勤務時間延長をする。
- ・ 1日の流れ・仕事内容をなるべく固定化している。担当者を決め、毎日、書面での業務内容の説明をしている。現場担当者に腕章をつけてもらい、本人が困った場合に相談する人を明確にしている。また、近くにいない場合も想定し、ブザーを準備し、すぐに駆けつけられるよう現場全体で意思統一が図られるよう工夫している。
- ・ 本人が現場の清掃作業をすることで、現場全体の整理整頓等の意識が高まり、波及効果がある。
- ・ 指示の出し方や仕事の教え方など、本人だけでなく、従業員にも同じことがいえ、勉強になっている。

## 6. 支援制度の活用

- ・ 宮崎障害者職業センターの実施するジョブコーチ支援事業
- ・ 宮崎障害者職業センターの実施する発達障害者就労支援プログラム
- ・ 宮崎県障がい者雇用コーディネーター事業

# 障がい者雇用事例

## 1. 事業所の概要

- ・事業所名：株式会社 モリタ
- ・所在地：宮崎市田野町甲8798-54
- ・事業内容：工業部品製造(自動車、船舶、航空機)
- ・従業員数：150名(うち、障がい者9名(カント15名))



## 2. 障がい者のプロフィール

- ・年齢：26歳
- ・性別：男性
- ・障害種別：知的(B-1)
- ・職歴：無
- ・採用年月日：平成19年6月25日
- ・賃金：日給
- ・通勤方法：自転車



## 3. 採用までの経緯

採用にあたり、宮崎障害者雇用支援センターとタイアップを実施。

モリタより実務材料の提供(訓練に使用) 支援センターにて対象者選定 支援センターの専門指導員が個別指導(カリキュラム) 就職に向けより現実に近い訓練の実施 モリタでのトライアル 評価 再訓練を経てモリタに入社。

1日6時間以内の勤務制限(支援センターよりの要請)で勤務中である。

## 4. 勤務状況 (従事している業務内容、事業所での様子、当事者(障がい者)の声 など)

- ・平成24年度は体調不良で1日欠勤した以外は遅刻早退もなく、毎日元気に通勤している。
- ・職場の人達からも可愛がられており、本人も生き生きと作業に専念している。
- ・コミュニケーション等は全く問題なく、指示もよく守り、目標達成している。
- ・家族の理解と応援があり、彼の支えとなっている。

## 5. 事業所の声 (障がい者雇用の方針、障がい者を雇用して良かった点、障がい者を雇用するに当たって配慮した点 など)

- ・当社は障害者雇用に対し、積極的に取り組んでいる。現在雇用率も10%程度で、今後も採用拡大に万全を期していきたい。
- ・障害者と健常者の待遇上の差異は全くなく、弊社の重要な人材として活躍している。
- ・ただ、障害者の中で「私は障害者だから・・・」とか「特別扱いをして欲しい・・・」などの考えがある人に対しては、基本的な指導を実施する必要ありと考えている。

## 6. 支援制度の活用 (雇用前、雇用後に活用した各種支援制度 など)

- ・職業準備訓練支援業務の活用
- ・トライアル雇用

# 障がい者雇用事例

## 1. 事業所の概要

- ・事業所名： 有限会社 スウィング まごころ園
- ・所在地： 宮崎市大字熊野字芦原2989-1
- ・事業内容： 福祉施設(清掃)
- ・従業員数： 20人

## 2. 障がい者のプロフィール

- ・年齢： 24歳
- ・性別： 女性
- ・障害種別： 身体
- ・職歴： 有
- ・採用年月日： 平成25年1月4日
- ・賃金： 月給
- ・通勤方法： 徒歩

## 3. 採用までの経緯

- ・対象者は障がい福祉サービス事業所を利用していた。
- ・ハローワークから紹介をいただき面接を受ける。後日、正式採用。

## 4. 勤務状況

- ・遅刻もなく、毎日通勤している。
- ・障がい福祉サービス事業所でホテル内清掃を施設外就労として訓練した経験を活かし楽しそうに作業している。
- ・周りの従業員とのコミュニケーションについても、周囲の理解もあり、良好にできている。

## 5. 事業所の声

- ・職場の雰囲気も和やかになり、職場環境もより良くなったと感じている。
- ・対応に苦慮した時も、事業所と連絡を取り、一緒に対応でき助かっている。

## 6. 支援制度の活用

なし

# 障がい者雇用事例

## 1. 事業所の概要

- ・ 事業所名： 社会福祉法人まほろば福祉会
- ・ 所在地： 宮崎市大字跡江525番地
- ・ 事業内容： 就労移行支援事業、共同生活援助事業等
- ・ 従業員数： 125名(うち障がい者数 8名)



## 2. 障がい者のプロフィール

- ・ 年齢： 36 歳
- ・ 性別： 男性
- ・ 障害種別： 身体 1級
- ・ 職歴： 無
- ・ 採用年月日： 平成 10 年 4 月 1 日
- ・ 賃金： 月給
- ・ 通勤方法： 施設内のホームから徒歩



## 3. 採用までの経緯

- ・ 理事長が日本筋ジストロフィー協会宮崎県支部長をしている時に「死ぬまでに一度でいいから働いて母にプレゼントをしたい」という相談を同じ病の少年から受け、その実現のため作業所を個人で設立したことが障がい者雇用のきっかけである。
- ・ 理事長や職員が、障がい者本人に「働いてみらんね」といった声かけから始め、個々の障がい者の観察から様々な職種を提案し、時間をかけて障がい者の就労意欲を育て、雇用につなげている。

## 4. 勤務状況

- ・ 文書作成、給与計算、会計などパソコンを使う作業を行っている。
- ・ 人工呼吸器を装着し、パソコン画面にあるキーボードをマウスを使って全てのパソコン操作を行うが任された業務は思い通りに処理できている。
- ・ コンピュータの知識が豊富で他の職員からも頼られる存在である。
- ・ とても熱意があり、仕事・給料を得ることが生き甲斐であり元気の源となっている。

## 5. 事業所の声

- ・ 「障がいがある人でなければできない仕事がある」ことを信念に障害者雇用に取り組んでいる。
- ・ 働く意欲のある人には、その人にあった職種を考え、新しく作ることもある。
- ・ 障がい者であっても一般職員と同じように与えられた業務をこなすことを求めており、賃金等も同じである。
- ・ 重度の筋ジストロフィー患者は、職場でも自宅でも介助者が常時必要である。そのため、雇用している障がい者は、職場では同僚の介助を受け、自宅では利用者として職員に介助を受けている。

## 6. 支援制度の活用

- ・ 業務遂行援助者の配置助成金

# 障がい者雇用事例

## 1. 事業所の概要

- ・ 事業所名： 医療法人真愛会 高宮病院
- ・ 所在地： 宮崎市吉村町大町甲1931番地
- ・ 事業内容： 医療業
- ・ 従業員数： 191名



## 2. 障がい者のプロフィール

- ・ 年 齢： 53 歳
- ・ 性 別： 男 性
- ・ 障 害 種 別： 腎機能障害
- ・ 職 歴： 有
- ・ 採用年月日： 平成8年12月1日
- ・ 賃 金： 月給
- ・ 通 勤 方 法： 自家用車

## 3. 採用までの経緯

平成8年12月に看護職で採用。その後、腎機能低下により市内の病院にて人工透析を受けるようになり、現在は通院治療をしながら就業している。

## 4. 勤務状況

- ・ 透析日程に合わせ三交代勤務を組んでいる。
- ・ 特に病欠もなく、業務内容についても特段の配慮をすることなく、通常業務をこなしている。

## 5. 事業所の声

- ・ 三交代勤務ということで、平日に休みを取ることができるので、通院治療は問題なくできているのだと思います。
- ・ ある程度自身の都合に合わせた休日の取得が可能なので、障がい者にとって働きやすい環境だと思います。

## 6. 支援制度の活用

なし

# 障がい者雇用事例

## 1. 事業所の概要

- ・ 事業所名：特定医療法人 浩然会 内村病院
- ・ 所在地：宮崎県水流迫 852番地1
- ・ 事業内容：医療業
- ・ 従業員数：189名



## 2. 障がい者のプロフィール

- ・ 年 齢： 歳
- ・ 性 別： 男 性
- ・ 障 害 種 別： 身体
- ・ 職 歴： 有
- ・ 採用年月日：平成 23年 4月 1日
- ・ 賃 金： 月給
- ・ 通 勤 方 法： 自家用車

## 3. 採用までの経緯

- ・ 紹介 通常の面接

## 4. 勤務状況

- ・ 従事している業務内容 調剤・薬剤管理
- ・ 事業所での様子 責任をもって生き活きと業務に携わっている
- ・ 当事者(障がい者)の声 働きやすい職場で人間関係も良い

## 5. 事業所の声

- ・ 障がい者雇用の方針 周囲に特に迷惑をかけることなく職務を全うできればよい
- ・ 障がい者を雇用してよかった点 今回は意識して障害者を雇用したという気持ちはない
- ・ 障がい者を雇用するに当たって配慮した点 駐車場・給食の配膳のみ

## 6. 支援制度の活用

- ・ 雇用前、雇用後に活用した各種支援制度 支援制度は今回利用していない



# 障がい者雇用事例

## 1. 事業所の概要

- ・ 事業所名：ソフトタウン高洲
- ・ 所在地：宮崎市高洲町235-3
- ・ 事業内容：介護付き有料老人ホーム
- ・ 従業員数：24人(うち、障がい者2人)

## 2. 障がい者のプロフィール

- ・ 年齢：23歳
- ・ 性別：男性
- ・ 障害種別：発達、知的(B2)
- ・ 職歴：有
- ・ 採用年月日：平成24年5月7日
- ・ 賃金：月給
- ・ 通勤方法：バス

## 3. 採用までの経緯

- ・ 対象者は高校卒業後、市内の紙器製造事業所で就業するが、本人の障がい特性に対する配慮が得られなかったため、不適応が顕著となり、離職。離職後、ハローワーク宮崎にて、基本的労働習慣を形成するためのチャレンジ雇用を利用し、職業能力の向上を図った。
- ・ 当該事業所は以前ジョブコーチ支援を活用し、居室清掃で知的障がい者を雇用しており、今回新規に障がい者雇用の意向を示したことから、対象者が応募した。ジョブコーチ支援を再度、当該事業所で実施し、採用となった。

## 4. 勤務状況

- ・ 対象者は既に雇用されていた障がい者と分担して居室清掃に従事することになったことから、ジョブコーチが作業スケジュール票を作成し、対象者はこれを参考にし、円滑に作業を進めていった。
- ・ ジョブコーチ支援期間中には定期的にケース会議を実施し、対象者の作業の適応状況を都度、事業所側と確認し施設利用者とのコミュニケーションがはかりづらい場所は清掃の対象から外してもらうなどの調整を行うことで、順調に職場適応を図っていった。

## 5. 事業所の声

- ・ 対象者が新規に雇い入れられることにより、既に雇用していた知的障がい者とペア(作業分担)を組むこととなった。これにより、先に雇用されていた障がい者の就業意欲が向上し、作業スピードがアップしたこと、お互いが配慮しながら、勤務シフト(休日の申し出)を組むなどの相乗効果が見られたことを事業所は肯定的に捉えている。
- ・ 事業所が新規に障がい者雇用に取り組むことができた背景としては、既にジョブコーチ支援を実施し、支援を通じて事業所職員自身が、障害特性を踏まえた雇用管理を一定行うことができ、障がい者雇用に一層の理解を示していたことがある。

## 6. 支援制度の活用

- ・ ジョブコーチ支援
- ・ トライアル雇用
- ・ 特定求職者雇用開発助成金

# 障がい者雇用事例

## 1. 事業所の概要

- ・事業所名：株式会社
- ・所在地：都城市
- ・事業内容：小売業
- ・従業員数：60人(うち、障がい者1人)

## 2. 障がい者のプロフィール

- ・年齢：23歳
- ・性別：男性
- ・障害種別：知的(B-2)
- ・職歴：有
- ・採用年月日：平成24年4月1日
- ・賃金：時給
- ・通勤方法：自転車

本人の声  
実習中は分からないことが多くて、覚えるのが大変でしたが、会社の方が丁寧に教えてくれました。自転車での通勤は大変だけど1日も遅刻せずに行くことができています。最近では顔なじみのお客様も出来て毎日楽しく仕事をしています。

## 3. 採用までの経緯

- ・対象者は平成23年8月より就労移行支援事業を利用
- ・ハローワークの障がい者専用求人をも本人・家族に伝え、面接を受ける
- ・企業と実習期間の調整、実習中の支援を行う
- ・2週間の実習後、正式雇用

## 4. 勤務状況

- ・一日も休まずに出勤している。
- ・作業の流れを実習期間中に理解しており、就労後も問題なく作業が出来ている。
- ・周囲の方の理解もあり、コミュニケーション面の問題もない。

## 5. 事業所の声

- ・障がい者雇用をするにあたって、事業所内で話し合うことで現場の理解を得ることが出来た。
- ・お客様とも接することが多い職種なので、コミュニケーション面を心配していたが問題なく出来ている。
- ・作業態度も真面目で安心して仕事を任せることが出来る。

## 6. 支援制度の活用

- ・ジョブコーチ支援

# 障がい者雇用事例

## 1. 事業所の概要

- ・事業所名： 有限会社
- ・所在地： 都城市
- ・事業内容： 精肉業
- ・従業員数： 90人(うち、障がい者2人)

## 2. 障がい者のプロフィール

- ・年齢： 18歳
- ・性別： 女性
- ・障害種別： 知的(B-1)
- ・職歴： 無
- ・採用年月日： 平成24年10月20日
- ・賃金： 時給
- ・通勤方法： 自転車・バス

### 本人の声

最初は大変だったけど、今は周りの人とも仲良くなれて楽しく仕事をしています。給料で欲しかったCDも買いました。忘年会や新年会もあって仕事の励みになります。

## 3. 採用までの経緯

- ・対象者は平成24年4月より就労移行支援事業を利用。
- ・事業所より障害者の雇用について相談があり、実習生として受け入れ。
- ・1ヶ月間の実習の中で、作業内容・職場環境にも慣れ雇用となる。

## 4. 勤務状況

- ・通勤に自転車とバスで40分かかるが、毎日元気に出勤している。
- ・どの作業にも真面目に取り組むことが出来ている。
- ・周りの方が実習中から積極的に声掛けをしてくれたおかげで、コミュニケーションも良好である

## 5. 事業所の声

・以前障がい者雇用について話を聞いたときは、職場の環境も整っておらずお断りしました。今回新しい工場が出来ることもあり、障がい者雇用について取り組んでみました。実習期間中の作業に取り組む姿勢や周囲とのコミュニケーション面などを見て問題ないと思い雇用しました。今では本人の明るい笑顔で職場の雰囲気や和やかにしてくれています。

## 6. 支援制度の活用

- ・特定求職者雇用開発助成金

# 障がい者雇用事例

## 1. 事業所の概要

- ・事業所名： (株)旭化成アビリティ延岡営業所
- ・所在地： 延岡市旭町2-1-3
- ・事業内容： OA関連業務・簡易印刷製本・一般事務・書類配送
- ・従業員数： 110人

## 2. 障がい者のプロフィール

- ・年齢： 20歳
- ・性別： 男性
- ・障害種別： 両上下肢機能障害
- ・職歴： 無
- ・採用年月日： 平成24年7月1日
- ・賃金： 月給
- ・通勤方法： 自力車椅子

## 3. 採用までの経緯

- ・ハローワークの求人情報により求人登録をして、面接のアポを取る。
- ・面接の日程が決まり、履歴書の書き方や面接の対応の仕方を練習する。
- ・一次試験が合格し、二次試験で面接。三日後、内定通知を受ける。後日健康診断で合格が決定した。

## 4. 勤務状況

- ・広い空間での作業なので、作業をしている状況が一目で確認できる環境にある。
- ・主に、書類の仕分け作業を行い、入力をする作業。仕分け作業の時間にノルマはないが、リーダーの声掛けの下で、期限の設定がされており、毎日の作業には限度がなく、真面目に作業をこなしているので問題なし。

## 5. 事業所の声

- ・モットーは明るく、楽しく、前向きに、安全基本行動として、明るい挨拶、安全な歩行、整理整頓を呼び掛けている。
- ・毎日車椅子で通勤しているので、事故に遭わないか心配している。
- ・建築資材の仕分けは項目別に書類を整理する。書類の量は限りなくあるので、仕事が切れることはない。

## 6. 支援制度の活用

- ・ハローワーク、障害者就業生活支援センターに協力いただいた。

# 障がい者雇用事例

## 1. 事業所の概要

- ・事業所名：株式会社 悠隆
- ・所在地：延岡市中央通3丁目5-1(延岡商工会館1階)
- ・事業内容：介護老人保健施設:GH他
- ・従業員数：450人

## 2. 障がい者のプロフィール

- ・年齢：24歳
- ・性別：男性
- ・障害種別：知的(B-2)
- ・職歴：無
- ・採用年月日：平成23年7月1日
- ・賃金：月給
- ・通勤方法：自転車

## 3. 採用までの経緯

- ・障害者就業生活支援センターから求人案内があり、面接の紹介を受ける。
- ・面接の旨を伝えると、本人様が快諾したので、数日後面接となる。
- ・職業認定のため、宮崎職業支援センターに障害者就業支援センターの就業支援員が同行。
- ・面接して数日後、合格の通知を受けたが、全くの未経験のため、一週間の実習体験をする。
- ・ジョブコーチ、会社の部長、支援員との合同支援会議を開き、トライアル雇用開始。3ヶ月後正式雇用となる。

## 4. 勤務状況

- ・仕事は施設内外の清掃
- ・毎日休まずに自転車で通勤している。
- ・例示だけでは作業理解に至らなかったため、一緒に作業しながら適宜説明が必要だった。
- ・一日のタイムスケジュールで作業の流れを整理し、混乱なく作業に取り組むことができています。

## 5. 事業所の声

- ・毎日休まず自転車で通勤している。
- ・素直な性格で、お願いしたことは確認して行うことができています。
- ・いくつかの行程がある場合は、一つひとつ確認しながら手順を説明する必要がある。

## 6. 支援制度の活用

- ・ハローワーク、障害者就業生活支援センターに協力いただいた。
- ・トライアル雇用
- ・ジョブコーチ支援

# 障がい者雇用事例

## 1. 事業所の概要

- ・ 事業所名： 宮崎労働局
- ・ 所在地： 宮崎市橘通東3丁目1番22号
- ・ 事業内容： 労働行政
- ・ 従業員数： 614人

## 2. 障がい者のプロフィール

- ・ 年 齢： 24 歳
- ・ 性 別： 男 性
- ・ 障 害 種 別： 発達
- ・ 職 歴： アルバイトのみ
- ・ 採用年月日： 平成24年10月 1日
- ・ 賃 金： 時 給
- ・ 通 勤 方 法： 自転車(雨天時バス)

## 3. 採用までの経緯

- ・ 高校卒業後情報システム関係の専門学校へ進学。
- ・ 専門学校卒業後発達障害者支援センターで相談、ハローワーク、障害者就業・生活支援センターに登録。
- ・ 障害者職業センターでの職業評価の後、就労移行支援事業所を利用し、職場実習を経験。
- ・ ハローワークの紹介で宮崎労働局の非常勤職員の求人に応募、採用となる。

## 4. 勤務状況

- ・ 従事している業務内容 事務補助員（PCデータ入力、文書作成、書類整理等）
- ・ 勤務日数・時間 週5日勤務(土日祝日休み) 9:00 ~ 15:30 実働 5.5時間
- ・ 仕事は問題なく行っており、欠勤等もない。

## 5. 事業所の声

- ・ 職員とのコミュニケーションは取れており、特に問題はない。
- ・ 大きな声での挨拶は苦手としている様子がかがわれる。
- ・ 配置されている部署の係長を中心に、問題等があれば対応する体制をとっている。

## 6. 支援制度の活用

- ・ 雇用後もハローワーク、障害者就業・生活支援センター、就労移行支援事業所の3者にて支援継続。
- ・ 上記の支援機関にてケース会議を定期的に行い、本人へのアドバイス等を行う。

# 障がい者雇用事例

## 1. 事業所の概要

- ・ 事業所名： 宮崎労働局
- ・ 所在地： 宮崎市橘通東3丁目1番22号
- ・ 事業内容： 労働行政
- ・ 従業員数： 614人

## 2. 障がい者のプロフィール

- ・ 年齢： 31 歳
- ・ 性別： 女性
- ・ 障害種別： 知的(B-1)
- ・ 職歴： 有
- ・ 採用年月日： 平成23年 5月 9日
- ・ 賃金： 時給
- ・ 通勤方法： バス

## 3. 採用までの経緯

- ・ 中学卒業後高等課程のある専門学校へ進学。その後、専門課程(洋裁学科)へ。
- ・ 専門学校卒業後ハローワークを通じて福祉施設で委託訓練を受講。
- ・ ジョブコーチ支援を利用して食品製造会社に就職するも、約1年で退職。ハローワークにて求職活動。
- ・ ハローワークのチャレンジ雇用求人に応募、採用となる。

## 4. 勤務状況

- ・ 従事している業務内容 事務補助員 (求人情報紙の作成、不要書類の回収、シュレッダー処理等)
- ・ 勤務日数・時間 月20日勤務(土日祝日休み) 8:30 ~ 15:30 実働 6時間
- ・ 欠勤等はない。

## 5. 事業所の声

- ・ 職員とのコミュニケーションは取れているが、人事異動で職員が変わると、慣れるまでに時間がかかる。
- ・ 新しい仕事(パソコン画面を見ながらの仕事)に慣れるのに疲れてしまい、集中力をなくすことがあった。
- ・ 朝のミーティングに遅れることがあるので、5分前の行動を指導した。

## 6. 支援制度の活用

- ・ 雇用後もハローワークの担当者による職場での悩み等がないか面接相談を継続。
- ・ チャレンジ雇用は一般就労へのステップアップのための制度なので、就労支援も平行して実施。

# 障がい者雇用事例

## 1. 事業所の概要

- ・ 事業所名： 宮崎労働局
- ・ 所在地： 宮崎市橘通東3丁目1番22号
- ・ 事業内容： 労働行政
- ・ 従業員数： 614人

## 2. 障がい者のプロフィール

- ・ 年齢： 19 歳
- ・ 性別： 女性
- ・ 障害種別： 知的(B-2)
- ・ 職歴： 無
- ・ 採用年月日： 平成23年 6月 1日
- ・ 賃金： 時給
- ・ 通勤方法： バス

## 3. 採用までの経緯

- ・ 高校在学中に福祉施設で実習したが、本人が一般企業を希望し、就職には至らず。
- ・ その後、就労継続支援事業所を検討していたが、ハローワークのチャレンジ雇用求人に応募。
- ・ その間、障害者職業センターで職業評価を受け、障害者就業・生活支援センターへも相談を行う。
- ・ 職場見学、通勤方法等の検討を行い、採用決定。
- ・ ジョブコーチ支援制度を活用し、職場への定着を図ることとなる。

## 4. 勤務状況

- ・ 従事している業務内容 事務補助員（求人情報紙の作成、文書のコピー、シュレッダー処理等）
- ・ 勤務日数・時間 月20日勤務(土日祝日休み) 8:30 ~ 15:30 実働 6時間
- ・ 無断欠勤・遅刻はない。
- ・ 作業内容によっては、時間のかかる時もあるが、一旦習得すれば、しっかり対応できている。
- ・ 職員とのコミュニケーションについては、明るい性格であり、周囲の理解もあり、良好である。

## 5. 事業所の声

- ・ 雇用当初は、作業によってはなかなかうまく出来ないことがあった。
- ・ ジョブコーチの指導や本人の努力で貴重な戦力として力を発揮している。
- ・ 明るくやさしい性格もあり、職場の雰囲気も和んでいる。

## 6. 支援制度の活用

- ・ ジョブコーチ支援を活用して定着を進めた。
- ・ チャレンジ雇用は一般就労へのステップアップのための制度なので、就労支援も平行して実施。



# 障がい者雇用事例

## 1. 事業所の概要

- ・ 事業所名：ハローワーク宮崎
- ・ 所在地：宮崎市柳丸町131
- ・ 事業内容：労働行政
- ・ 従業員数：91名

## 2. 障がい者のプロフィール

- ・ 年齢：20歳
- ・ 性別：女性
- ・ 障害種別：知的障害(B-2)
- ・ 職歴：有
- ・ 採用年月日：平成24年5月21日
- ・ 賃金：時給
- ・ 通勤方法：自転車

ハローワークで求人情報誌の印刷、折込、発送や郵便物の仕分けなどの色々な仕事を覚えたことで自信ができました。

(本人より)

## 3. 採用までの経緯

- ・ 高校卒業後、カメラの販売員として1年間働いたが契約終了により退職。
- ・ 障害者就業・生活支援センターへ登録、ハローワークにて本人・保護者へ「チャレンジ雇用」制度の説明。
- ・ 障害者就業・生活支援センターと本人に対してハローワーク内見学及び仕事内容の説明。
- ・ 障害者職業センターへ登録、ジョブコーチ支援についての説明。
- ・ 「チャレンジ雇用」対象者として採用後、障害者職業センターのジョブコーチ支援を活用。

## 4. 勤務状況

- ・ 今まで欠勤や遅刻早退は一度もなく勤務できている。
- ・ 計算が苦手で郵便集計のミスが多いため専用の計算シートを作成、電卓使用でミスが減少した。
- ・ 職員とのコミュニケーションは取れるようになっており、あいさつについても問題なし。
- ・ 自分の仕事に自信が持てるようになったことから、障害者面接会への参加意向を自ら伝えた。
- ・ 面接会で応募した介護施設へH25年4月から就職内定、現在介護ヘルパー取得に向けて勉強中。

## 5. 事業所の声

- ・ 職員の負担となっていた業務が減少し、各個人の仕事の効率化につながった。
- ・ 視覚的にわかりやすいように、タイムスケジュールや施設見取り図を入れた業務マニュアルを作成した。
- ・ 各部門担当者を選任、毎月支援機関を交えた検討会を開催、問題があればメンバーで解決策を話し合い本人へ指導を行っている。
- ・ 選任された担当者は、本人にわかりやすいようにネームプレートにラインマークを入れている。

## 6. 支援制度の活用

- ・ 障害者職業センターのジョブコーチ支援を活用。

# 障がい者雇用事例

## 1. 事業所の概要

- ・ 事業所名：宮崎県(会計課、労働政策課、福祉保健課、障害福祉課)
- ・ 所在地：宮崎市橘通東2-10-1
- ・ 事業内容：事務補助
- ・ 従業員数：採用障がい者4名

## 2. 障がい者のプロフィール

年齢	35歳	23歳	35歳	25歳
性別	男性	女性	男性	女性
障害種別	精神	精神	精神	知的
職歴	有	有	有	有
採用年月日	平成24年8月1日			
賃金	日給			
通勤方法	自転車	自転車	自家用車	バス
配属先	会計課	労働政策課	福祉保健課	障害福祉課

## 3. 採用までの経緯

- ・ 県が実施する知的・精神障がい者チャレンジ雇用事業により、ホームページ等で公募。
- ・ 応募者に対して面接を実施し、2名の採用予定のところを4名臨時的任用職員として採用。
- ・ 配属先は、事前に各課に要望調査を行い、業務内容等を検討の上、決定。
- ・ 配属先に対しては、採用者の障がい特性や留意事項について、事前説明会を実施。
- ・ 採用者及び配属先への支援者として、「向陽の里」のジョブコーチの田中氏に協力依頼。

## 4. 勤務状況

- ・ 採用条件は臨時的任用職員(更新なしの条件以外は一般の場合と同じ)。任用期間は4か月で更新なし。
- ・ 勤務初日に採用者全員に対して、臨時的任用職員としての留意事項等オリエンテーションを実施。
- ・ 業務内容は、会計課では書類整理、労働政策課では文書収発作業・パソコンでの入力作業、福祉保健課ではパソコンでの入力作業、障害福祉課では文書の封入作業・書類の仕分け作業が中心。
- ・ 勤務状況は、精神の方は3名とも不安定であり、任用期間を通して休みが多く、1名の方は入院(2か月)になった。一方、知的の方は任用期間中安定しており、皆勤に近い出席率だった。

## 5. 事業所の声

- ・ 各配属先においては、採用者の障がい特性を十分理解いただき、状況に合わせて柔軟な対応をいただいた。
- ・ 1か月ごとに振り返りの機会を設け、採用者全員で話をするパターンと個別に話をするパターンと分けて実施した。
- ・ 日々の案件については、配属先と連絡を密にし、ジョブコーチとその都度早急に対応した。
- ・ 4名の方とも業務内容については大きな問題はなかったが、フルタイムでの勤務など生活面での問題が大きかったため、就労移行支援事業所等での職業準備訓練を受けることの重要性を改めて感じた。

## 6. 支援制度の活用

- ・ ジョブコーチ支援

# 障がい者実習受入事例

## 1. 事業所の概要

- ・ 事業所名： (株)久保田オートパーツ
- ・ 所在地： 宮崎市細江字板川4231番地
- ・ 事業内容： 中古車の販売、買い取り、中古車部品販売、車検点検 他
- ・ 従業員数： 約50名



## 2. 障がい者のプロフィール

- ・ 障害種別： 身体
  - ・ 年齢： 50代
  - ・ 職歴： 有
- 
- ・ 障害種別： 発達
  - ・ 年齢： 20代
  - ・ 職歴： 有



## 3. 実習受入までの経緯

- ・ 平成24年9月、相談役(当時、代表取締役社長)から、障がい者雇用を進めていきたいとの考えを伺う。
- ・ 事務職や車検行程の一部、リサイクルといった業務にて、発達障がいや身体障がいの方の実習を積極的に受け入れて頂く。実施に当たっては宮崎障害者職業センターや宮崎県中央発達障害者支援センターにも支援にも関わってもらっており、常に連携を図ってきた。

## 4. 実習状況

- ・ 身体障がいの方(部品販売窓口での事務・接客業務)からは、自動車部品についての知識がほとんどなく、かなり不安であったが、周囲のスタッフよりサポートしてもらい非常に助かったといわれていた。
- ・ 発達障がいの方(車検行程の一部、リサイクルなど)については、周囲のスタッフへの周知であったり、支援機関との連携を受け入れてもらい安心感があった。

## 5. 事業所の声

- ・ 実習状況も良好で、周囲のスタッフとのコミュニケーションも良好であった。
- ・ 発達障がいの方は初めてで実習受け入れに関してはかなり不安であったが、支援があれば一般の方と同じような取り組みが出来ると感じた。
- ・ 障がいのある方が入ってくる事で、従業員の働く意識の向上が図れた。
- ・ 今後も障がい者の実習や雇用など、社会貢献活動を進めていきたい。

## 6. 支援制度の活用

- ・ 宮崎障害者職業センターの実施する、ジョブコーチ雇用前支援
- ・ 就労移行支援事業所の実施する実習制度
- ・ 障害者雇用コーディネーター事業

# 障がい者実習受入事例

## 1. 事業所の概要

- ・事業所名： (有)ほるぶ九州
- ・所在地： 延岡市構口町1-2フェニックスビル1階
- ・事業内容： 図書販売
- ・従業員数： 10名

## 2. 障がい者のプロフィール

- ・年齢： 41歳
- ・性別： 男性
- ・障害種別： 身体
- ・職歴： 無
- ・実習期間： 平成24年9月24日  
～ 平成25年1月25日

## 3. 実習受入までの経緯

- ・実習依頼文書の連絡を取る。
- ・障害者の知識が全くなかったと社長が話されていたので、障害者を数人同伴して面談する。
- ・仕事の内容を検討して、何ができるのか試行し、図書のバーコード入力とキーパー貼り、本のコーティングをすることが主な仕事となる。
- ・本のコーティングは一つひとつの本の大きさが異なるので、事業所に持ち帰って練習してみたが困難だった。
- ・バーコード入力可能で本人には適した仕事だった。

## 4. 実習状況

- ・学校別の図書のバーコード入力を1日約100冊程、一つひとつ丁寧に入力の仕上げをすることができていた。
- ・入力の速度が日を追って速く進めることができてきた。
- ・フルコーティングをすることができなかったが、今回できるようになり、緊張はした様子だが自信ができた。

## 5. 事業所の声

- ・テキパキと丁寧に入力作業をこなし、間違えれば自分で訂正をすることができるようになってきた。
- ・苦手だった電話の対応もできるようになった。
- ・前回までできなかった本のフルコーティングの作業については、練習してもらったところ、見事に上出来に仕上がりが驚いている。日に日に効率良く作業を行うことができています。
- ・今後も引き続き大いに期待している。

## 6. 支援制度の活用

- ・ハローワーク、障害者就業生活支援センターに協力いただいた。
- ・トライアル雇用

# 障がい者実習受入事例

## 1. 事業所の概要

- ・ 事業所名： 宮崎労働局
- ・ 所在地： 宮崎市橘通東3丁目1番22号
- ・ 事業内容： 労働行政
- ・ 従業員数： 614人

## 2. 障がい者のプロフィール

- ・ 年 齢： 27 歳
- ・ 性 別： 男 性
- ・ 障 害 種 別： 発 達
- ・ 職 歴： 有
- ・ 実 習 期 間： 平成21年10月7日  
～ 平成21年10月14日

## 3. 実習受入までの経緯

- ・ 障害者職業センターが実施している発達障害者の専門的支援について、事業所での体験実習を宮崎労働局で実施することとなったため。

## 4. 実習状況

- ・ 作業内容 法改正の周知用チラシの送付作業  
(事業所リストの作成、あて名シール作成、チラシ印刷、封筒詰め、発送作業)  
コピー作業
- ・ 作業時間 13:00 ~ 16:00 を 2日 9:00 ~ 16:00 を 3日 (実働 5日間)

## 5. 事業所の声

- ・ 指示されたことを、正確にきちんと行っていた。
- ・ 最初は緊張していたが、慣れてくると作業速度が上がっていた。
- ・ 人が見えても見ていなくても、手を抜かずにきちんと仕事できていた。

## 6. 支援制度の活用

- ・ 障害者職業センターによるジョブコーチ支援

# 障がい者実習受入事例

## 1. 事業所の概要

- ・ 事業所名： 宮崎労働局
- ・ 所在地： 宮崎市橘通東3丁目1番22号
- ・ 事業内容： 労働行政
- ・ 従業員数： 614人

## 2. 障がい者のプロフィール

- ・ 年 齢： 26 歳
- ・ 性 別： 男 性
- ・ 障 害 種 別： 発 達
- ・ 職 歴： 有
- ・ 実 習 期 間： 平成 22 年 9 月 27 日  
~ 平成 22 年 10 月 1 日

## 3. 実習受入までの経緯

- ・ 障害者職業センターが実施している発達障害者の専門的支援について、事業所での体験実習を宮崎労働局で実施することとなったため。

## 4. 実習状況

- ・ 作業内容 セミナーの周知用チラシの送付作業  
(事業所リストの作成、あて名シール作成、チラシ印刷、封筒詰め、発送作業)  
コピー作業
- ・ 作業時間 13:00 ~ 16:00 (実働 5日間)

## 5. 事業所の声

- ・ 初めは緊張が強い様子であったが、慣れてくると黙々と作業を行っていた。
- ・ 手順がはっきりしている作業は、問題なく対応していた。

## 6. 支援制度の活用

- ・ 障害者職業センターによるジョブコーチ支援

# 障がい者実習受入事例

## 1. 事業所の概要

- ・ 事業所名：宮崎県教育委員会 特別支援教育室
- ・ 所在地：宮崎市橘通東1丁目9番10号
- ・ 事業内容：特別支援学校生徒の職場実習
- ・ 従業員数：

## 2. 障がい者のプロフィール

- ・ 年齢： 17歳
- ・ 性別： 女性
- ・ 障害種別： 聴覚
- ・ 職歴： 無
- ・ 実習期間： 平成24年8月6日  
～ 平成24年8月10日

## 3. 実習受入までの経緯

- ・ 特別支援学校から、将来、公務員を希望する生徒がいるので教育委員会内の部署において実習をしたい、という要請があり、当室で関係各課と調整し、県立図書館で実習を行うようにした。
- ・ これまで、この生徒を含め、教育委員会内の関係課室等で特別支援学校生徒3名が実習している。

## 4. 実習状況

### 【実習内容】

- ・ 企画担当業務（図書館ロビー等の企画展示）
- ・ 情報総括担当業務（本の整理やラベル貼り等）
- ・ 郷土情報担当業務（古いふすまに張られた古新聞を剥がす作業）
- ・ 情報提供担当業務（図書館のカウンター業務）
- ・ 普及支援担当業務 など

### 【本人の感想】

- ・ 企画展示やカウンター業務など、図書館利用者とは違った視点から業務を見ることができ、参考になった。
- ・ 図書館の中でいろいろな業務があることが分かり、勉強になった。
- ・ 明治時代の新聞紙を剥がす作業はなかなかできない貴重な体験であったが、難しい作業だった。

## 5. 事業所の声

### 【本人に対する図書館の評価】

- ・ 本の整理やラベル貼り等、手際よく業務をこなし、事務処理能力が非常に高い。

### 【障がい者実習受入の当たっての配慮事項】

- ・ 図書館担当者が事前に学校と連絡を取りながら、作業内容の調整、コミュニケーション手段等の障がいに対する配慮事項等の細かな打合せを行い実習を実施した。

### 【実習の受入方針】

- ・ 県教育委員会としては、対象生徒の障がいの状態や特性、将来の希望等を考慮し、可能な限り対応する。

## 6. 支援制度の活用

- ・ 特になし